

令和5年度 幼児教育研修（年齢別担任研修0歳児・第3回）

「子どもの発達と保育者の関わりについて」

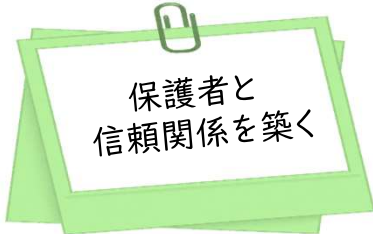
日時：令和5年11月9日（木）15:00～17:00

会場：足立区生涯学習センター

講師：彰栄保育福祉専門学校 専任講師 山梨 有子 氏



子どもを真ん中に、保護者と共に楽しい子育て・保育をするために



チャンスを活かそう！

- *相談に来てくれた時に**傾聴**する。
- *問題が生じた時の背景に**目を向ける**。
- *苦情を言いに来てくれた時に訴えの**意味を知る**。



信頼される保育者になろう！

- *日々の**コミュニケーション**を大切にする。
- *不安や葛藤などを抱える保護者の**心に寄り添う**。
- *保護者の思いを**共感的**に理解する姿勢をもつ。



保育における子育て支援の方法とは

保護者との信頼関係作りが大切

*子どもの成長における**気付き**を、保護者にわかりやすく伝え**共感**する。

隣で遊んでいた友達におまごのごちそうを「はい」と手渡していましたよ。一緒にモグモグ食べるしぐさをして遊ぶ姿がありました。成長ですね。



かわいいですね～。うちでは見られない姿なので嬉しいです。友達と仲良く遊んでいるのですね。

*子どもの姿を**多角的に見て**、いろいろな姿を知り、互いに**共有**する。

キーワード

～送迎時、面談、懇談会、保育参加（参観）、行事等様々な場面で～

保護者が**相談**しやすい雰囲気作りを大切にする

一方的な助言ではなく、**保護者と共に考える**ことを大切にする

保育者と子どもとの**関わり方を見本提示**する。

保育者は、**子どもと保護者の関係をつなぐ役割**になること。

子どもの発達を支える ポイント

十分にたっぷりと『ゆるやかに』関わる

子どもの中で流れる時間をくみ取る

子どもが『好きな遊び』を見つける

子どもの遊びを他の保育者と共有する

『自分で』の実現を助ける

子どもが安心して自己発揮ができる



*一人一人のペースに合わせるゆとり、十分な時間や空間はありますか？

*子どもがおもしろがっていること、夢中になっていることを見つけよう！

*今、子どもが自分でできることから、少し手伝うとできることを支えよう！

↓
「やりたい」から「できた」
を支える工夫

遊びの環境



● やりたいこと
が叶う



● 多様な動き
ができる



● くつろげる場



● お気に入りのもの



● 安心できる人

保育はチームで行うもの

◎クラス担任でも、担任以外でも、保育者同士が頼ったり頼られたりする関係の中で保育していく。

◎子どもを真ん中において、保育がもっと楽しくなることで、保育者と保護者間をつなげていく。

★ 研修生の質問に答えいただきました。

五感を使う遊びの中で、味覚に関する活動について学びたい。



離乳食は、かなり薄味である。味覚については、多様な味に触れること、旬な食材を見たり、触れたりすることを大事にするるとよい。おいしく食べることが基本で、栄養士、調理師と共有して進めていく。

0歳児にとって、異年齢での遊びは大切なのだろうか？



保育の場面で「合同する」「合同しない」の二択で考えない。0歳児の子どもの興味が広がる場面で設定していくとよい。

研修生の報告書より

保護者との信頼関係の築き方を改めて学ぶことができた。保護者の声の根本にある「子どもを思う心」を汲み取り、保護者と共に子どもの成長を見守り、手助けできるパートナーになることの大切さを学ぶことができた。

子どもの興味や関心を知ることで、その子の育ちを知り理解することが保護者支援につながる大切なポイントであることを学んだ。保護者支援の関わりでは「養育力の向上」を目指し、保育者はつなぐ役割になることを意識していきたい。